

新宿南口地区基盤整備事業
sinnjyuku-ku Tokyo 2003

- < 新しい新宿の顔 >
- < 街の魅力施設としての駅 >

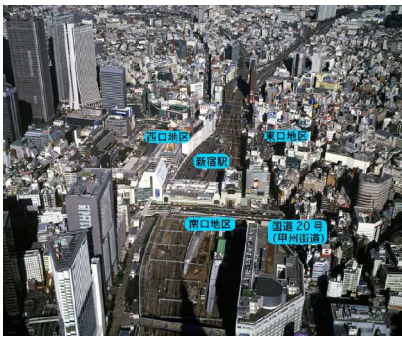
計画敷地：東京都新宿区

発注：JRE設計

立体道路の仕組みを用い交通機能が高度に集積する新しいタイプの都市施設をつくるプロジェクト。新しい新宿・東京の顔を形成。駅のイメージの一新。

計画の視点

- ・新しい賑わいのあり方
- ・都市施設として今までとは違う立体複合都市施設(電車、タクシー、一般車、バスの重なり)新しい風景体験を造る
- ・賑わいの中のアメニティ空間
- ・旅に向かうの高揚感の表現、ドラマ性
- ・移動する視点からの風景
- ・シンボル性



甲州街道側にどのような表情を作るか

- ・新宿らしい(賑わい)の表現
- ・街並みを新しい都市施設で作る
- ・中からもまちが見えること
- ・新しい新宿の顔
- ・中の機能を表現 タクシー、バスが上にいること

乗換え機能をうまく解くこと

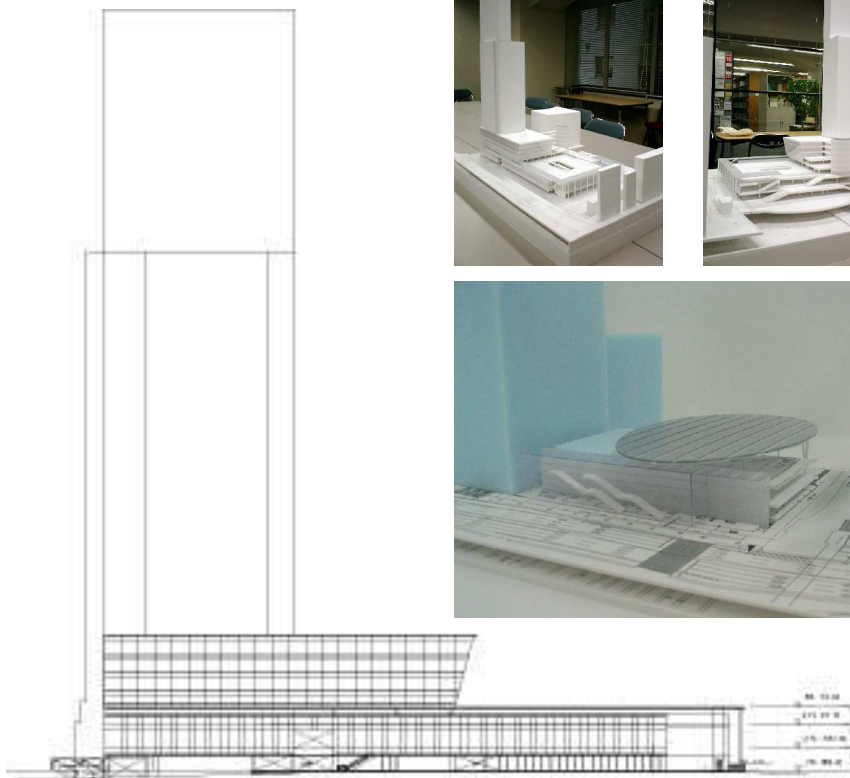
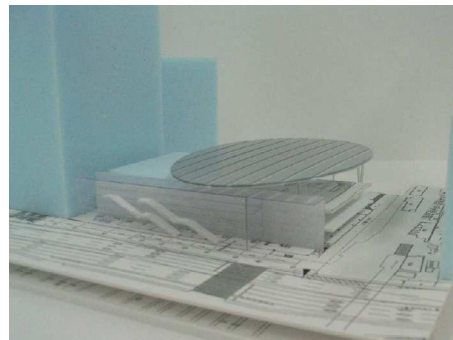
- ・それぞれが快適に、分かりやすく
- ・垂直方向の移動を便利に、分かりやすく
- ・今までの駅には無い、空間としてのわかり易さ

新南口広場の作り方

- ・人の集まるアメニティスペース
- ・回遊性の結節点
- ・南新宿オープンスペースのシンボル空間
- ・既存のテラス等を活かした連続性のありかた
- ・玉川上水の利用
- ・南口大オープンスペースの面白さ、東西に性格の違うものがあること

南口と新南口の連絡、接続

- ・大きな回遊動線の中で考えること
- ・南北通路は街路であるべき、建物の一部の通路であってはならない



甲州街道側立面図

